

令和 8 年熊本地震の発生を受けて

— 被災された皆さまへのお見舞いと、一日も早い復旧・復興を願って —

7 月 28 日に熊本県熊本地方を震源として発生した「令和 8 年熊本地震」により、熊本県を中心に甚大な被害が生じています。被災地では、現在も余震が続く中、家屋をはじめ、道路、水道、鉄道等の基幹インフラにも大きな被害が生じ、多くの方々が避難生活を余儀なくされています。亡くなられた方々に謹んで哀悼の意を表するとともに、被災されたすべての皆さまに、心からお見舞い申し上げます。

8 月 3 日時点において、J R 東海ユニオン組合員本人が直接被災したとの情報はありませんが、熊本県をはじめ九州地方にご家族・ご親族が暮らす組合員も多く、一部のご家族の住宅に損壊等の被害が生じていることを確認しております。被災されたご家族・ご親族を案じている組合員の皆さんに、J R 東海ユニオンとして心を寄せるとともに、ご家族・ご親族の安全と一日も早い生活の再建を心から願っています。

鉄道においても、九州新幹線 筑後船小屋駅～八代駅間、鹿児島本線 荒尾駅～八代駅間、豊肥本線 熊本駅～宮地駅間で、線路や架線、橋梁をはじめとする設備に大きな被害が生じています。

こうした厳しい状況の中、J R 九州労組、J R 九州グループ労組及び貨物鉄産労に集う多くの仲間が、被災した組合員・ご家族に寄り添いながら、輸送の確保と一日も早い復旧に向け、懸命に業務にあたっています。それぞれの持ち場で使命を果たしている皆さんに心から敬意を表するとともに、J R 東海ユニオンとして固い連帯の意思を表明します。

復旧作業は長期に及ぶことも懸念されます。連日の猛暑も続いており、作業に従事する仲間の安全と健康が最優先に確保され、適切な環境のもと作業が進められることを強く願います。

J R 東海ユニオンは、労働組合の原点である相互扶助と助け合いの精神に基づき、すべての被災者に寄り添いながら、連合及び J R 連合と連携し、被災地の状況やニーズを踏まえた支援を検討してまいります。

被災された皆さまが平穏な生活を取り戻されることと、被災地の早期の復旧・復興を、心からお祈り申し上げます。

2026 年 8 月 4 日
東海旅客鉄道労働組合
(J R 東海ユニオン)